

## 令和6年度 指定管理者の管理運営に対する年度評価シート

施設概要			
施設名	山形市特別養護老人ホーム菅沢荘		
指定管理者（選定方法）	社会福祉法人 山形市社会福祉事業団（選定方法：非公募）		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
利用料金制導入の有無	有		
施設所管課	福祉推進部長寿支援課		
評価			
評価の区分	S	協定書、仕様書どおりに実施され、計画や目標を上回る実績（効果）があった場合	
	A	協定書、仕様書どおりに実施され、概ね計画や目標どおりの実績（効果）があった場合	
	B	協定書、仕様書どおりに実施されたが、計画や目標を下回る実績となるなど（効果が少ない場合を含む）、改善を要する必要がある場合	
	C	協定書、仕様書どおり実施されなかった場合	
	－	評価項目が該当しない	
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接遇向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いは適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
	利用の状況	開館日数	開館（日数）は適切に行われたか
開館時間		開館（時間）は適切に行われたか	A
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	A
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	A
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
満足度の調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃（日常）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃（定期）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検（日常）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検（定期）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金の収受	利用料金の収受は規定の料金を適正に収受するなど適切に行われたか	A
	利用料金の減免	減免の申請手がなされた場合、処理は適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A
総括評価			
<p>（管理運営の状況について）安全衛生委員会や防災委員会などを通して、各種マニュアルや計画を定期的に見直すなど、より実用的な運用を行っている。また、痰吸引研修を受講したり、褥瘡予防への対応に力を入れたりなど、職員の資質向上に努めている姿勢が伺える点も評価している。</p> <p>（事業の実施状況について）夏祭りや敬老会などの各種事業については、依然として感染症対策のため、施設内で入所者と職員のみでの開催となったが、その様子を広報紙やホームページで配信するなどしており、利用者満足度調査においても入所者やその家族からの高い評価を得ている。</p> <p>（維持管理の状況について）多くの高齢者が入所している施設であり、設備等の管理項目も多数ある中、適切な保守に努め、不測の事態が起こらぬよう留意しており、評価している。</p> <p>（収支の状況について）総合福祉施設として、各部署からの職員を集め、定期的に経営健全化のための会議を開催しており、コスト意識の共有がなされている点について評価している。ただ、特別養護老人ホーム、ショートステイともに稼働率が目標値に達していない。総合福祉施設内の各事業所との連携を密にし、適切なサービスの提供に努めてはいるが、さらに選ばれる施設となるために、他の指定管理施設とも連携を図るなどしてもらいたい。</p>			